

# コロナが教えてくれた～生きがい・やりがい・助け合い～

コロナ禍対策を講じて活動を継続したら、助け合い活動が活発になった！

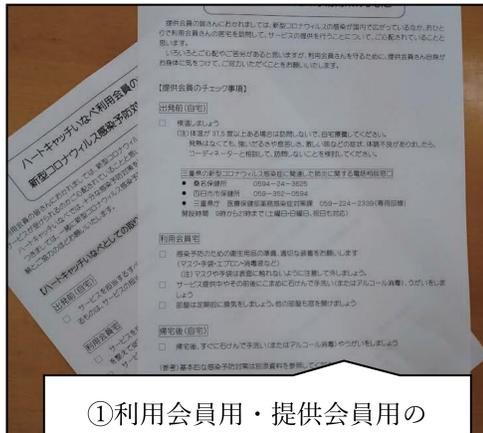
## 御縁・互援でえんむすび



団体名 **特定非営利活動法人 快生教学会**

活動内容 住民主体型訪問サービス「ハートキャッチいなべ」(住民参加型有償ボランティア)、認知症の人と家族の「おれん家“カフェ”」(月1回)、地域の縁がわ～えんむすび～(令和2年11月から週1回)など、子どもから高齢者、障がい者すべての人がふれあい、つながり、助け合う活動を実施しています。

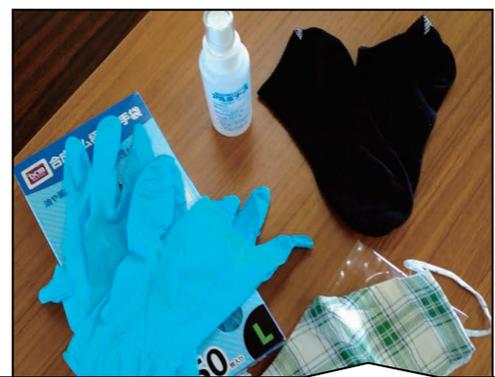
### 住民主体型訪問サービス「ハートキャッチいなべ」新型コロナウイルス感染予防対策



①利用会員用・提供会員用の  
手引き作成



②提供会員コロナ対策説明会



③必要物品の配布  
(消毒液・使い捨て手袋・マスク・靴下)

#### 訪問回数はどうしたらいいの？

訪問回数は利用者と提供者が直接調整する。(お互いの信頼関係で成立)

最初はコロナウィルスを警戒していたけど、利用者の気持ちに寄り添っていたら訪問サービスが優先になった。

#### 訪問回数が減ったら！？

定期的に訪問していた回数が減って、寂しくなったのは……  
なんと！提供会員自身だった。

提供会員の声(寂しくて家で泣いてた😭)

ハートキャッチいなべを通して、私たち提供会員が、利用者から生きがい・やりがいをいただいていたことに気づくことができた。

引き続き、訪問サービスは継続し、月1回の定例会と

フォローアップ研修は欠かさず実施。お互いさまの心が未来につながっている (☺>◡<☺)。💎♡

(ハートキャッチいなべ 令和2年度実績:提供会員 37人、利用会員 89人、支援件数 1,820件)

### 集いの場

(令和2年度延参加者数 855人)



感染予防はみんなと一緒に  
楽しいところに人は集まる  
笑顔が免疫力を高め、コロナも退散！

どんな状況でも続けていたから、助け合い活動が活発になった